

中学校社会科 単元指導計画（歴史的分野） **【例】**

※指導と評価の計画について、「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料中学校社会（国立教育政策研究所）を参考に作成しています。また、1単位時間の学習課題（問い）を示しています。大分県ウェブサイトの「新学習指導要領対応 小・中学校各教科等学習指導案様式例（令和3年3月3日更新）」とは項目が異なっていますが、参考としてご活用ください。

○単元名 「幕府の改革と社会の変化」

（内容のまとめり B 近世までの日本とアジア（3） 近世の日本）

学習指導要領の目標や内容、「内容のまとめりごとの評価規準」の考え方等を踏まえ、「幕府の政治の展開」を単元とした指導計画の例である。以下のように、「近世までの日本とアジア」の学習の最後に本単元を位置付けているが、中項目のまとめりと振り返りは、本単元の学習の後に1単位時間設ける。

○単元の目標

- ・幕府の政治が次第に行き詰まっていく様子について、幕府の政治改革の内容を諸資料などで調べることを通して、社会と経済の変化と関連させて理解できるようにする。
- ・幕府の政治の立て直しに効果的な政策について、事象同士の因果関係に着目して、社会と経済の変化と関連付けて、多面的・多角的に考察し、根拠に基づいて自分の考えを表現できるようにする。
- ・幕府の政治が行き詰まりを見せたことについて、社会と経済の変化を踏まえながら、他者と協働して主体的に追究しようとするようにする。

○評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行き詰まりを見せたことを理解している。 ② 幕府の改革と社会の変化について、諸資料から課題解決に必要な情報を効果的に調べまとめている。	① 交易の広がりとその影響、産業の発達と文化の担い手の変化、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどとして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	① 近世の日本について、見通しをもって学習に取り組み、学習を振り返りながら、主体的に課題を追究し、次の学習へのつながりを見い出そうとしている。

※【参考】中項目の指導計画（内容のまとめり B 近世までの日本とアジア）

世界の動きと統一事業	江戸幕府の成立と対外関係	産業の発達と町人文化	幕府の政治の展開
「近世の日本には、どのような特色があるのだろうか」			
「ヨーロッパ人の来航とその後の織田・豊臣による統一事業は、社会にどのような影響を与えたのだろうか」 【○知・●技】 【●思】 【●態】 ※単元テスト	「江戸幕府が長い間政治の権力を保てた要因は何だろうか」 【○知・●技】 【○思】 【●態】 ※単元テスト	「江戸時代の産業や文化はどのように発達し、（都市や各地方の）人々はどのような生活をしていたのだろうか」 【○知・●技】 【●思】 【●態】 ※単元テスト	「幕府の政治の立て直しに効果的な政策を行ったのは誰だと考えられるか（当時の社会や幕府の政治はどのように変化したのだろうか）」 【○知・○技】 【○思】 【●態】 ※単元テスト

- ・・・学習状況を見取り、生徒の成長を認め励ますとともに必要に応じて指導、支援を行う「学習改善につながる評価」
- ・・・観点別学習状況の評価や評定に用いる「記録に残す評価」

○指導と評価の計画(全5時間)

中項目の学習課題：「近世の日本には、どのような特色があるのだろうか」

時	主な学習活動・ねらい	学習課題(問い)	評価の観点			評価規準
			知	思	態	評価方法
1	貨幣経済が農村に浸透したことの影響や、徳川吉宗が改革にどのように取り組んだのか等の社会の変化について、一揆や打ちこわしのグラフ等の資料から読み取り理解させ、単元を貫く学習課題を設定し、学習の見通しをもたせる。	「徳川吉宗はなぜ政治改革を行わなければならなかったのだろうか」 ※当時の社会の変化を捉え、単元の課題を設定するための問い 「徳川吉宗の政治改革の特徴は何だろうか」	①	①	①	【知①】当時の社会の様子や享保の改革の特徴を理解している。 【思①】一揆や打ちこわしの増減を示したグラフ等の資料を読み取り、当時の社会の様子や享保の改革の効果について多面的・多角的に考察している。 【態①】単元を貫く学習課題について自分の考えを書いている。また、単元の学習計画を立て、見通しをもつことができている。 ワークシート
<p>単元を貫く学習課題(問い)：幕府の政治の立て直しに効果的な政策を行ったのは誰だと考えられるか(当時の社会や幕府の政治はどのように変化したのだろうか)</p>						
2	田沼意次の政治と寛政の改革の内容について、利点と欠点を視点に分類し、比較することを通して、当時の社会の変化とそれぞれの改革の効果を考察させ、理解させる。	「田沼の政治と寛政の改革はどのような考えのもと行われたのだろうか」	①	①		【知①】田沼意次の政治と寛政の改革の内容と当時の社会の変化について理解している。 【思①】それぞれの改革の内容と効果を、当時の社会と関連付ながら多面的・多角的に考察し、表現している。 ワークシート
3	社会が変化する中で発展した学問や文化の特色について、諸資料から読み取り、理解させる。	「新しい学問と化政文化は、社会の変化とどのような関係があり、どのような特色をもっているのだろうか」	①			【知①】化政文化の特色について、当時の社会の変化と関連付けて理解している。 ワークシート
4	ピラミッドチャート等を用いて、田沼の政治や寛政の改革と比較するとともに、日本と世界の社会の変化を関連付けながら、天保の改革の特色と幕府の政治が行き詰っていく原因について考察させる。	「天保の改革は、田沼の政治や寛政の改革と何が大きく異なるのだろうか」	②	①		【知②】諸改革の効果や社会背景を表を用いて適切に整理し、まとめている。 【思①】天保の改革と、田沼の政治や寛政の改革を比較し、特色や社会背景の違いについて、多面的・多角的に考察し表現している。 ワークシート(表、ピラミッドチャート、記述)
5	単元の課題について、これまでの学習を基に、ピラミッドチャートを用いて多面的・多角的に考察し、根拠と理由を明確にして、文章で書かせ、他者と交流させる。 ・単元の振り返りを記述させ、交流させる。	「幕府の政治の立て直しに効果的な政策を行ったのは誰だろうか」	①	①		【知①】諸改革の特色やその社会背景と、幕府の政治が次第に行き詰まりを見せたことについて理解している。 【思①】ピラミッドチャートを用いて、諸改革の効果を多面的・多角的に考察し、根拠と理由を明確にして文章で書いている。 ワークシート(ピラミッドチャート、記述)
<p>単元のまとめ(例) 都市だけではなく農村にも浸透していったという社会の変化に着目すると、年貢だけではない現金収入の策や貿易の拡大等の政策を行った田沼意次であると考えられる。(当時、貨幣経済が農村に広がる中で経済的な格差が生じたことによる百姓一揆の発生や、自然災害などに起因する財政の悪化が問題となっていた。このような社会や経済の変化への対応として諸改革が展開されたが、貨幣経済の広がりや都市や農村の変化は著しかったことや外国船の接近などにより、幕府の政治は次第に行き詰まっていった。)</p>						

※次時に中項目のまとめと振り返りを行うとともに、「近代の日本」の学習につなげる。
その際、主体的に学習に取り組む態度について、記録に残す評価を行う。